

はじめに

本報告書は、内閣府の「平成29年度 アジア・太平洋輝く女性の交流事業」として実施した調査結果やシンポジウムの成果をまとめたものです。

若い女性達が将来について考えるときに、企業に就職することが意識されがちですが、起業という選択もあります。実際には起業して活躍をされている素晴らしい女性も沢山いらっしゃいます。ただ、現状では、起業に関する情報が、若い女性達の手元に十分に届いているとは言えません。そこで、女性起業家のロールモデル、とりわけ、今後益々の発展が期待されるアジア・太平洋地域をフィールドとした起業について、情報提供ができないか、といった思いから、この報告書を作成しました。

アジア・太平洋輝く女性の交流事業は平成28年度より始まりましたが、初年度は、アジア・太平洋地域との架け橋となって活躍されている女性の皆さんとどのようにして出会ったらいいのか、皆さんお忙しい中で本当に時間を割いていただけるのか、また、若い学生の皆さんに関心を持ってもらうためにどうしたらいいのか、そんな多くの不安を抱えながらの船出となりました。しかし、その心配は杞憂に終わりました。不安を払拭してくれたのが、昨年度のシンポジウムの成功であり、アンケートに記入してくださった皆さんのコメントでした。特に若い世代からの、一歩前に踏み出す勇気をもらったという言葉聞き、大変勇気づけられました。シンポジウムを通じて、実際に世界に飛び出し、自分の可能性を自分の力で切り開き、充実した人生を生きている女性達に出会えたからこそその言葉であったと思います。まさに21世紀に生きる女性の生き方の一つの理想と言えるようにも思います。

そして2年目の今年は更に多くの方々にご参加いただき、熱い議論が展開されました。それをまとめたものが本報告書です。今、日本は時代の転換点にあり、私達はこれから、仕事と家庭の両立が当たり前の社会を生きることになります。そんな中で、自身の潜在能力を生かし、より良い社会を作るために起業することが現実的な選択肢の一つとなったのです。

本報告書では、アジア・太平洋地域でご活躍の女性起業家の皆様からお話いただいた、起業のきっかけ、人生の転換点、成功の鍵といった体験談が多数まとめられています。私自身の人生を振り返っても、様々な人との出会いが私の可能性を広げ、次のチャンスへと導いてくれました。本報告書が、多くの若い方々の目に触れ、これからのキャリアを考える際に少しでも示唆を提供するものとなれば幸いです。

末筆となりましたが、本事業調査及びシンポジウムにご協力頂きました女性起業家の皆様、ご多用のなか、快くご協力頂き、誠に有難うございました。

2018年3月

アジア・太平洋輝く女性の交流事業調査検討委員会
委員長 大沢 真知子

